

議員提出議案第16号

美浜原子力発電所事故の原因究明と原子力政策の転換を  
求めることに関する意見書

上記の議案を提出する。

平成16年9月27日

提出者

15番 山本ひとみ

9番 本間まさよ

武蔵野市議会議長 田中節男 殿

## 美浜原子力発電所事故の原因究明と原子力政策の転換を 求めることに関する意見書

8月9日、関西電力美浜原子力発電所3号炉で発生した2次系配管破断事故は、これまでの日本における原子力発電にかかわる事故の中で最大の犠牲者を出した大惨事となりました。犠牲になられた方の御冥福と、負傷された方の御回復を心からお祈りするとともに、今回の事故を重大な警鐘として、徹底的な事故原因の究明と原子力政策の転換を求めます。

今回の事故は、運転開始以来28年間、一度も点検されなかった箇所が発生しました。1986年、アメリカ合衆国のサリー原発で同様の事故が発生していました。また、昨年11月には検査会社が未点検箇所であることを通知していたにもかかわらず、関西電力は、適切な措置をとってきませんでした。それだけではなく、現在電力会社各社は、コストダウンを図るため、定期点検の内容を縮小して期間を短縮し、かつては3カ月かけていた検査をわずか1カ月で終わらせることが常態となっており、さらに、安全業務を子会社や下請けに業務委託していることも背景にあります。

こうした問題は、もはや関西電力という一企業の管理体制のずさんさとどまることなく、現在の原子力行政のあり方を、根本的に見直す必要があることを示しています。

よって、武蔵野市議会は、今回の美浜原発事故に強く抗議し、貴職に対し下記事項を要請します。

### 記

1. すべての原子力発電所について早急に安全点検の徹底を図ること。
2. 第三者機関による安全性をチェックするシステムをつくること。
3. 原子力に依存するエネルギー政策を根本的に見直し、自然エネルギーの開発など、脱原発政策への転換を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成16年 9 月 日

武蔵野市議会議長 田 中 節 男

内閣総理大臣  
経済産業大臣  
内閣官房長官

あて